

1階平面図

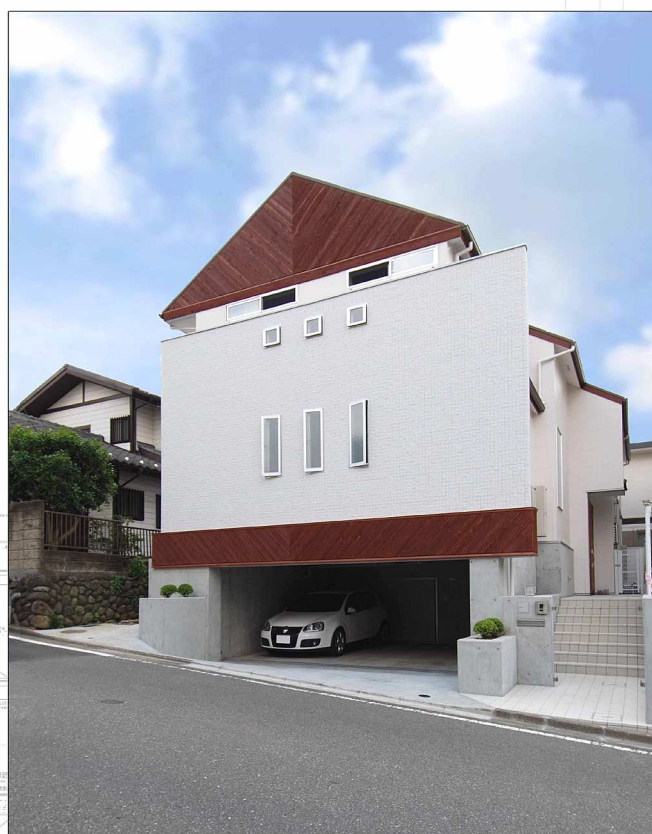
日照条件のよい南側には敷地より1m高い隣地に住宅が現存し、横浜らしい坂道に面する敷地には、その道路なり且つ敷地の奥側が高くなる傾斜があった。  
 法的にも建ぺい率、容積率、高さ制限のすべてが市内でもっとも制約の厳しい敷地である。この土地に家族の歴史を刻もうと決めた施主一家の要望を100%反映させる気概をもって設計をすすめた。

まずクリアすべき課題は高低差のある敷地と、日照の阻害条件となる南側との高低差の解消である。

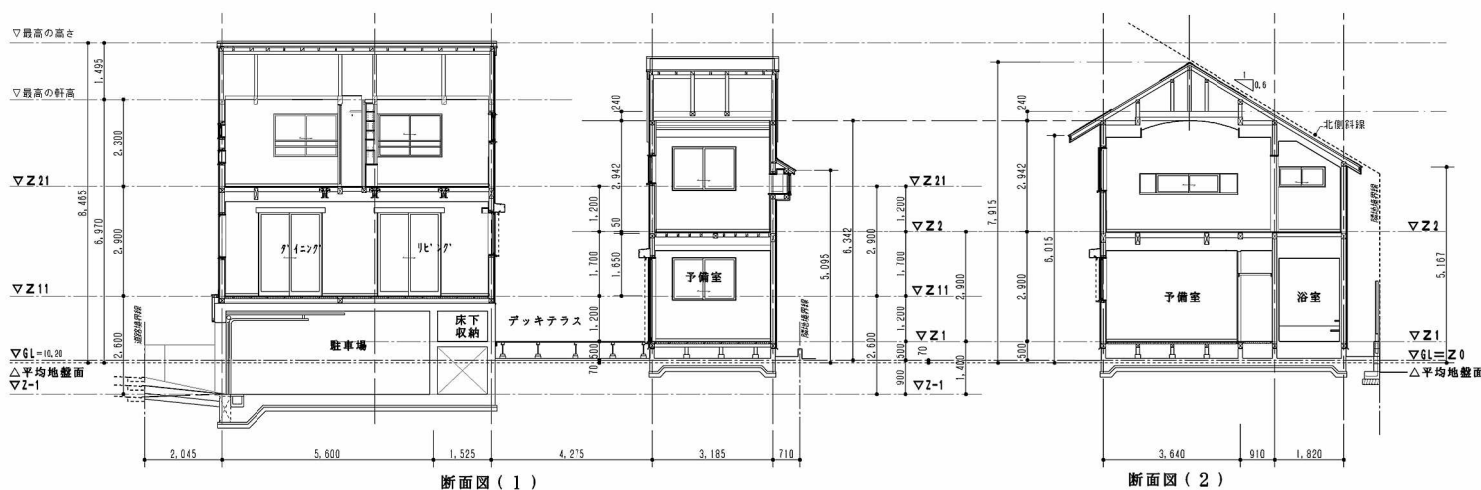
導かれた回答は敷地の高低差を利用した地下駐車場の計画と、その上階を南側隣地の高さと同様に床面をそろえたリビングとすることで、敷地の傾斜を高床式の計画とすることで解消し、高床式の基礎をそのまま地下駐車場としたのである。高床とすることで南側との地盤高さの差が解消され、リビングに暖かな日照が確保されることとなった。

ただし、建物全体を高床とする理由はない。敷地の中央から奥側は現状の地盤高さに合わせた床面を設定すると、必然的に同じ1階でも床の高さが2パターンある、いわゆるスキップフロアの計画となった。

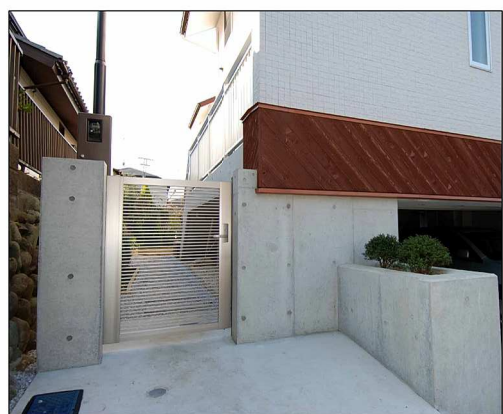
特殊解ととらえられがちなスキップフロアの採用は奇をてらったわけではない、与えられた難題を解消するために必要と考え、導き出した一般解なのである。



# 個の空間をつなげる家族のデッキテラス



ファサードを見上げる  
 白色のタイルと天然木のサイディングにより構成されたファサードは美しいコントラストを演出しながら同時に道路の騒音から家族を守る役割も果たす。  
 際立つ白色が特徴的なタイルは防汚効果の高い親水性表面処理を施しており、その白さを長年維持する。



▲南側よりリビングバルコニーを見る。敷地より1m以上高い位置にリビングのFLが設定されていることが分かる。



◀リビング前の踊り場  
 玄関とはスキップフロアの関係となる。リビングに至る階段は他の階より巾を広めに計画し、リビングへの動線がスムーズに流れるように計画した。

玄関からデッキテラスを見る。▶  
 デッキテラスを介した柔らかな日差しが家族の帰宅を迎える。室内は白を基調にした仕上げに統一し、より明るい空間を演出する。玄関は地下駐車場から直接アクセスでき、雨天でも濡れることなく帰宅できる。



施主は小学生・幼稚園児2人の子供を持つ若夫婦。未来あふれる家族にとってもっとも長い時間を過ごす我が家を設計するに当たり、コの字型の外形の中央に室内と同じレベルでアクセスできるデッキテラスを計画した。

このデッキテラスは遊び場、イベントスペース、趣味の空間とフレキシブルな利用が可能だが、計画に重視したのが各室との繋がりにある。

デッキテラスにはリビング、主寝室、子供室、そして宿泊客や近い将来同居予定の父母の部屋として利用する予備室に接している。これらの室の利用者は個の空間として各室に居るときであっても、デッキテラスを利用して家族の動きを感じることができる。またデッキテラスを介して正面の部屋の窓明かりを確認でき、家族の存在を視覚的にも認識できる。

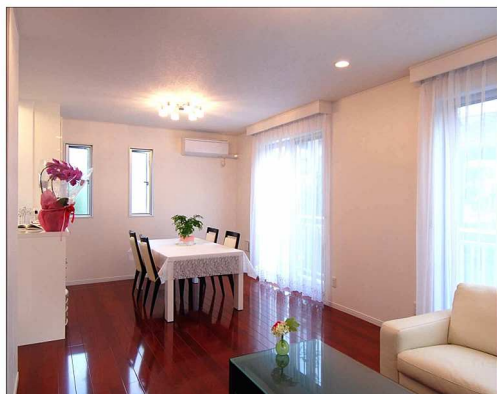
個としてのプライバシーに配慮しつつ、家族としての繋がりを常に認識できる空間計画を重視して計画を進めた一つの象徴がこのデッキテラスである。



▲予備室前よりリビング外壁を見る。予備室とリビングのFLがスキップしていることがよく分かる。



▲デッキテラスより建物を見上げる。デッキテラスを中心に、リビング予備室、主寝室、子供室が配置されている。



▲ダイニング  
 南に面する(写真右側)窓から明るい光が射し込む。FLの設定を南側隣地より高くしており、隣地の日照障害を軽減する計画としている。

## 設計概要

N邸  
 用途：専用住宅  
 構造：木造 一部RC造  
 敷地面積：185.14㎡ (56.00坪)  
 延床面積：182.41㎡ (55.18坪)



## 株式会社 深沢義昭設計事務所

設計者：1級建築士 国土交通大臣登録第74846号 深沢義昭  
 〒231-0012 横浜市中区相生町2-48-2 TEL. 045(640)6788 FAX. 045(640)6789  
 E-Mail: alo@fukazawasekkei.com HP: http://www.fukazawasekkei.com/